

ちきゅうこそ

井口友希

ちきゅうこそ

よっぽど宇宙的ではないか

こんなにもたくさん人間が

ひとつの大きな大きな球体にくっついて

自分のことに泣いてみたり

他人のことに泣いてみたり

苦しんで

そう思ったら今度は笑って

みたことのないもの、

正体のわからないようなものに

熱心になって近づこうとして

いろんなことに心を忙しくさせながら

暗闇にういている

ちきゅうこそ人間こそ

膨大な宇宙ではないか

そして、もちろん

私の宇宙はだれにもわからせないのだ